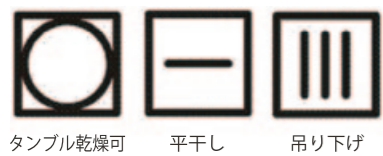


2 その他、知っておいて損はない「洗濯マーク」

表紙では、洗濯の時に最低限知っておきたいマークを2つ紹介しましたが、洗濯マークが41種類もあったら他のマークも気になりますよね。その中から、理解しておいて損はないマークの見方を分類別に紹介します。



タンブル乾燥可 平干し 吊り下げ

■四角マーク・・・「乾燥の仕方」を指示したマーク

四角の中に丸が入ると、コインランドリーや家庭の洗濯機などで、タンブル乾燥が可能ということ。つまり一般的な衣類乾燥機（ドラム式）が使えるか否かを指します。丸ではなく横や縦の棒線が入ると「自然乾燥」の印となり、「一」であれば「平干し」、「|||」であれば「吊り下げ」を表します。



塩素系○ 塩素系× 塩素系×
酸素系○ 酸素系○ 酸素系×

■三角マーク・・・「漂白剤を使用してよいか否か」を表したマーク

普通の三角マークは塩素系及び酸素系の漂白剤を使用して漂白ができます。三角に斜め線がある場合は酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止。×が入ると塩素系及び酸素系漂白剤の使用は禁止です。だいたいケースで「×」になっていることが多いようです。



アイロン温度最高110℃ アイロン温度最高200℃ アイロン使用不可

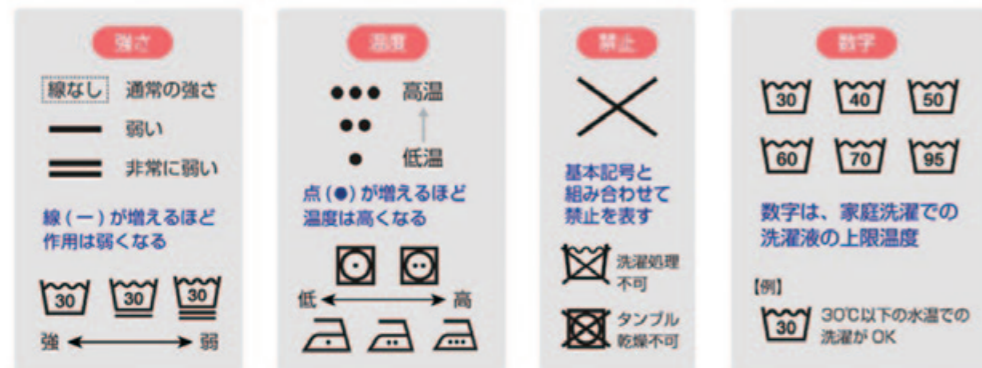
■アイロンのマーク・・・「アイロン掛けができるか否」かのマーク

アイロンの中の「・」の数が多いほど、アイロンの底面温度を高温にして掛けられるという意味です。
(・最高110℃ ・・最高150℃ ・・・最高200℃)。
×印が入るとアイロンの使用は禁止です。



この他、文字で「洗濯ネット使用」「裏返して洗う」「色移りしやすい」などの表記を加える衣類メーカーもあります。特に「色移り」に関しては見落とさないよう注意しましょう。

数字と付加記号



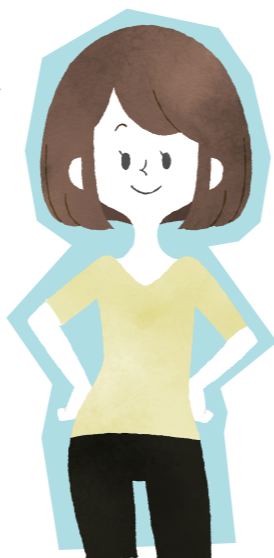
■「合皮」「レーヨン」「ウール」「シルク」の注意点

洗濯表示に特別な表示がなくても、「合皮」「レーヨン」「ウール」「シルク」などの素材は注意が必要です。洗濯表示だけでは判別できないこともあったりします。例えば以下のような場合は注意深くなります。

- 「合皮」なら乾燥機を使わない。
- 「レーヨン素材」であれば、濃い色の物は他の衣類に染移しやすいので注意する。
- 「ウール」「シルク」に桶のマークがついていてもウォッシュ加工の効果は切れると縮む可能性があるため、手洗いかクリーニング店に依頼する。
- ・・・などです。洗濯表示マークが全部「×」といった衣類もありますが、そんな時は悩まずに信頼できるクリーニング店に相談しましょう。



洗濯マークは要素の組み合わせなんだね



木族の家通信

家族が集う木の住まい
株式会社 木族の家
KIZOKU NO IE
ぎぞく

2019年1月1日号 (毎月1日発行)

No.122

□□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□

あけましておめでとうございます

2019年が幸多き一年になりますように!

木族の家から見える信州の山々はすっかり雪化粧
冬の透き通った空気の中だと、気持ちもキリッと引き締まります



お気に入りの服を大切にしたい♪

汚れを効率的に落としたい!

洗濯の豆知識 ①

日々の日課である洗濯。あらためて考えてみると、洗濯マークなどあまり気にせず洗濯していたり、素材や色によって「これ洗っていいの?」「どう洗うの?」と扱いに迷う衣類も多くあります。そこで今月号から連載で、洗濯マークの意味や正しい洗い方についてご紹介します。

1 これだけ覚えておけば間違いのない「洗濯マーク」



2016年12月から衣類についている洗濯表示が変わったのをご存じでしょうか? 今までは日本独特の表示だったのが、国際規格に合わせて変更されて、22種類から41種類と倍増しています。種類が多すぎて、逆に混乱しそうですね。でもご心配なく! これだけ覚えれば大丈夫というマークは2つだけです。

■「桶」と「丸印」を覚えよう!



まず覚えてほしいのが「桶」に水が注がれたようなマークと、「丸印」のマークです。この2つ覚えておけば、「洗うこと」に関して困ることはありません。

■「桶」マークは水洗いOK



桶のマークは水洗いが可能という印です。つまり、家庭での洗濯機もしくは手洗いが可能ということになります。桶マークの下に線が入る場合もありますが、線が1本であればデリケートコース洗濯や手洗いを推奨しています。線が2本になれば、確実に手洗いた方がいい衣類ということになります。線の数が多いほど、「丁寧に扱って」という意味です。

■「丸印」マークはクリーニング店でのクリーニング可能



次に丸印のマークです。このマークが表示されていれば「クリーニング店でのクリーニングが可能」ということを表します。丸の中に「P」「F」「W」と英語の表記がありますが、「P」や「F」はドライクリーニング、「W」であればウェットクリーニングと呼ばれる、クリーニング店での水洗い指示を意味します。

「桶」と「丸印」、この2つをチェックしておけば、失敗や迷いはなくなります。洗濯前や衣類を購入する際の重要項目としてぜひ覚えましょう。

